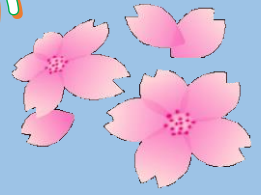


営農ウィークリーNEWS

営農販売課のメンバーが 少し変わりました



4月1日より営農販売課は、6人体制となりました。営農販売課を牽引してきました新谷課長が西南部経済センター長に異動しました。また、新採の吉田真依が着任しました。引き続き営農販売課をよろしくお願いたします。

営農販売課では、昨年度同様、組合員皆様の農業所得増大に向けた有利販売等の事業展開、対話重視型の営農技術相談を実践するとともに、地域特性を生かした新たな品目導入による生産振興と新規産地の形成を図っていきます。

また、効率的な生産履歴電子システム運用により、持続可能な地域農業の実現、消費者の信頼に応える食の安全性確保のための支援を行っていきます。

さらに、農業所得増大と消費者への農業PRの一環として、新鮮野菜の直売についても開催の定期化を図っていきます。

近年の異常気象などに対応するため、「営農ウィークリーNEWS」や「営農情報メンバーズメール」等の継続的な配信とSNSやJAホームページ等を活用した情報発信により、タイムリーな情報提供を行い営農活動の支援を行っていきます。



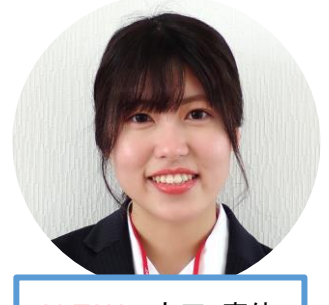
齊藤 篤 課長補佐



島 裕加里



岡路 智美



NEW 吉田 真依



岡田 昭信



荒木 俊光

—TAC information—

特産レタス出荷前の現地目合わせ会実施



生育状況を確認する向島野菜出荷研究部員ら



出荷間近の試験中の品種

向島野菜出荷研究部では、毎年4月上旬から5月中旬までJA共販の朝どりレタス約1万5千ケースを京印 京都南部青果に出荷します。スーパー等の店頭で販売され、その日のうちに消費者の手元まで届きます。

出荷前の生育状況や出荷時期などを確認するため、4月2日に、生産者と市場関係者、普及センター、JA担当者らで全圃場を見て回りました。生育は順調で、4月10日より出荷することになりました。

今年は、近年の温暖化で発生が増えているタケノコ球対策として、新品種の検討も行っています。